



札弦でサプライズ花火大会

7月18日、花火大会実行委員会によるサプライズ花火大会が行われました。

この事業は、「新型コロナウイルスなどで明るい話題が少ない中、笑顔と心のやすらぎを提供したい」と、札弦地区の有志の方々が企画したものです。

当日は、新型コロナウイルス対策として集客はせず、原則自宅から観賞する形式で実施され、夜空には美しい花火が花開いていました。



大豆生産組合が町へきな粉を寄付

7月2日の学校給食で、清里町産のきな粉「ゆっきなこ」を使用したメニュー「きな粉白玉」が提供されました。

この給食で使用されたきな粉は、「新型コロナウイルスの影響で在庫となった製品を有効に活用してほしい」と、大豆生産組合から町へ寄付していただいたもので、教室は子どもたちの笑顔であふれていました。



清里中学校の生徒が地域清掃活動

6月30日、「自分たちが暮らす地域を自分たちの手でより良くし、普段お世話になっている清里町の人たちに恩返しをしたい」と、清里中学校の生徒による地域清掃活動が行われました。

当日は、各学年が混ざった縦割りの12の班に分かれて行われ、生徒たちはごみ袋や地図を片手に、清掃活動に取り組んでいました。



固定資産評価審査委員会委員の選任

6月19日に開催された町議会にて、中平哲也さん（上斜里大和）が固定資産評価審査委員会委員（2期目）に選任され、6月22日、櫛引町長から選任書が交付されました。

固定資産評価委員は、固定資産台帳に登録された事項に関する申出のあった審査および決定に対し、中立的・専門的な立場から審査を行うものです。

任期は令和2年6月22日から令和5年6月21日までの3年間です。



JR北海道「北の大地の入場券」

JR北海道が、入場券の半券で各地の鉄道風景を紹介する「JR北海道 北の大地の入場券」を、7月18日に発売しました。

裏面には、道内全13路線を約30万分の1で再現した地図が描かれており、全86種類をつなげると、JR北海道の路線図が完成するものです。

清里町では、情報交流施設きよ〜るで販売されています。



清里町農業協同組合が町へ寄付

7月3日、清里町農業協同組合の石井代表理事組合長が来庁され、新型コロナウイルス感染症防止対策に対する支援として、町へ寄付金をいただきました。

いただいた寄付金は、新型コロナウイルス感染症対策に係る貴重な財源として、有効に活用させていただきます。



社会を明るくする運動

7月1日、斜里地区保護司会清里分区の保護司の方々が来庁し、代表の佐藤誠さん（上斜里中）から本松副町長へ「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージが伝達されました。

この運動は、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。



清里町連合青年団が清掃活動

6月29日、清里町連合青年団による町内の清掃活動が行われました。

当日は小雨が降るあいにくの天気となりましたが、道道摩周湖斜里線や2線道路などの主要道路沿いをはじめ、清里町駅やプラネット周辺など、人通りが多い場所を中心に、2班体制で清掃活動に取り組んでいました。